

定期予防接種スケジュール(例)

以下のスケジュールは標準的な接種スケジュール(例)となります。具体的な接種スケジュールについては、かかりつけ医に相談しましょう。
市外で接種する場合は、接種前に予防接種実施依頼書等の申請が必要です。右記「にのみやスマート申請」から、申請してください。
接種予定日の10開庁日前までに「にのみやスマート申請」にて申請をしてください。

ワクチン		種類	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校 就学 前年度	7歳	8歳	9歳	11歳	小学校 6年生	12歳	13歳	15歳	高校 1年生 相当	20歳 未満																
定期 予 防 接 種	ロタウイルス	経口生	①	②	出生6週0日から24週0日後までに2回接種 (標準的には生後2か月から出生14週6日後までに1回目を接種)																																							
		経口生	①	②	③	出生6週0日後から32週0日後までに3回接種 (標準的には生後2か月から出生14週6日後までに1回目を接種)																																						
	B型肝炎	不活化	①	②	③ ← 1回目から20週(139日)以上空けて3回目を接種																																							
	小児用肺炎球菌 ※1	不活化	①	②	③	④ ← 初回接種(1~3回目)終了後から60日以上空けてかつ1歳になって以降に接種																																						
	五種混合 (DPT-IPV-Hib)	不活化	①	②	③	④ ← 初回接種(1~3回目)終了後から6か月以上空けて接種																																						
	BCG ※2	注射生	①					1回目から3か月以上空けて2回目を接種																																				
	麻しん風しん混合 (MR) ※2	注射生	①												②												2期は小学校就学前年度 (幼稚園年長相当)の4月1日																	
	水痘 (水ぼうそう) ※2	注射生	①												②												4回目(2期)は9歳以上13歳未満で1回接種																	
	日本脳炎	不活化	①												②												③						④											
	二種混合 (DT)	不活化	①												②												③						④ ← 2回目と1期追加 (3回目) の間は6か月以上空ける						① ← 11歳~13歳未満で1回接種					
	子宮頸がん予防 (HPV: 9価) 対象者: 女子	1回目の接種が 15歳未満	1回目から5か月以上の間隔を置いて1回 (1回目から1か月以上5か月未満で接種した場合は、以下「1回目の接種が15歳以上」の場合と同様の間隔の3回接種となる)																																									
		1回目の接種が 15歳以上	1か月以上の間隔を置いて2回、2回目から3か月以上の間隔を置いて1回 (標準的には、2か月の間隔を置いて2回、1回目から6か月の間隔を置いて1回)																																									

- (※1) 小児用肺炎球菌の接種方法は、初回接種の開始月齢や接種日時点の年齢等によって変わります。上記スケジュールは、初回接種開始時に生後2か月から生後7か月未満の場合の接種方法です。
- (※2) 注射生ワクチン (BCG、MR、水痘) を接種した後、別の注射生ワクチンを接種する場合は、27日 (4週間) 以上あける必要があります。

